

〈第8回〉 西原3町内子ども会 「ハロウィンお楽しみ会」 育成会会長 中畑絵美

11月1日(日) 「ハロウィンお楽しみ会」を開催しました。

参加人数は69名で、新南部公民館で1時間ほどレクリエーションを楽しみました。

新型コロナウイルスの影響で今までお出掛けもなかなか出来なかったので、子どもたちの楽しみになったようです。参加人数も多く、みんなでの初顔合わせとなりました。

先ず、公民館の広場で、来場した子どもたちから手指の消毒→受付→クジ(細長い紙に色シールが貼ってあるもの)の順でします。クジはそのまま腕にテープで着けます。集まった後に、「**バンド(色シール)をアピールしながら喋らずにグループのおともだちを探しましょう！早く仲間を探したチームの勝ち！**」というルールで事前にクジで引いた色に、言葉を交わさず6人10グループに分かれるゲームです。少し時間をかけながらもグループに分かれました。

次は、グループ対抗で、エジプトゲーム！息を合わせてタイミング良く同じ方向を向くゲームです。「エジプトエジプトどっち向くの？」と掛け声のあと写真の3人の男の子のようなポーズで右か左を向きます。6人が早く揃ったチームの勝ちです。申し合わせてしまうグループもありましたが、それもコミュニケーションできたとプラスに考えて楽しめました。

優勝は、以外に沢山いたので最後まで勝ち残ったチームになりました。

「エジプトゲーム」

1組の人数が3人ぐらいだと少しは同じ方向に揃いやすいですが、人数が多いとなかなか揃いません。しかし、そのことが面白くかえて皆で楽しめたようです。

やっている本人達は大変です。あるチームはコミュニケーション能力？を発揮して、秘策？を出したようです。(左の写真とは関係ありません。)

さあ この3人組のように 他のグループも揃うかどうか……
大人数になるとなかなか揃いにくいです。



次は、紙コップ運びゲームです。2人1組でちからを合わせて紙コップを運びます。グループの前にある6個の紙コップをテーブルの上に6個重ねるというゲームです。

紙コップは輪ゴムに毛糸を4本結びつけたものです。2人で前後左右に力を加えて輪ゴムを広げたり縮めたりして掴みます。倒れたとき以外は手で紙コップは触れません。感覚を使うゲームです！2人の力のバランスが大事でなかなか難しいようですが、やっている人も見ている人もたくさん楽しめました。

勝ったチームから、公民館にある荷物を取り、お菓子(ちょっとした袋菓子を集めたもの)を貰い、雑貨(100均のおもちゃやノート、コデラのおもちゃ)を選び順次帰りました。

仮装してくれたおともだちも皆で紹介しあいました。



最後は役員で、密にならないよう子どもたちの誘導をしました。

事務局から

事務局長 白石和典

1 お忙しい中に原稿と写真有り難うございました。

コロナ禍で活動を自粛し、外出も控えていた子どもたちも、久々に皆で顔合わせが出来、そして楽しいゲームが出来て良かったですね。写真を見ると皆マスクをしています。屋外の活動でも手指の消毒やマスク着用で新型コロナウイルス感染防止に十分気をつけてこの行事を実施されたことがうかがえます。

2 参加者70人ほどの行事の運営は大変だったと思います。どんなゲームをするか色々と考えられたことでしょう。「エジプトゲーム」「紙コップ運びゲーム」は共に子どもたちにも大好評だったのではないのでしょうか。

その前の「グループ分けゲーム」もなかなか面白いアイデアですね。くじを引いて色分けすることはいろんな所で行われると思います。しかし、それを「しゃべらずに」「くじで引いた同じ色の仲間を探す」とゲーム化したところが素晴らしいです。「少し時間をかけながらもグループに分かれました。」このことがかえってゲームらしくなりましたね。コロナ禍ならではのアイデアで、まさに逆境に対応した取り組みだと思います。こんなちょっとした事が実は大切な事なのですね。アイデアが光りました。

3 役員の皆様方も企画に準備に色々のご苦労されたことでしょう。子どもたちに楽しい活動を体験させて頂き感謝いたします。西原3町内子ども会の益々の発展と子どもたちの健やかな成長をお祈りいたします。次の活動報告も是非お寄せください。